

令和7年度 第4回 開成中学校運営協議会 会議録(要点記録)

- 1 開催日時 令和8年2月25日(水)14時30分から16時20分まで
- 2 開催場所 開成中学校 多目的室
- 3 出席委員 名波 弘充、吉田 葉津美、石川 夏紀、磯部 多秀、高林 正嗣、  
杉山 幸生、縣 延孝、白井 麗
- 4 欠席委員 若松 由希野
- 5 オブザーバー 嶋田 哲也(北部協働センター所長)
- 6 学校支援コーディネーター 石原 清美
- 7 学 校 小川 誠司(校長)、山守 達大(教頭)、山田 亘(主幹教諭)、  
今田 彬(生徒指導主事)、松本 敬介(CS担当)、  
山崎 智子(CSディレクター)
- 8 教育委員会 加藤 大輔(学校・地域連携課)
- 9 傍聴者 なし
- 10 会議録作成者 CSディレクター 山崎 智子
- 11 議長の選出

第3回協議会で白井委員が推挙されており、全員異議なくこれを承認した。

12 協議事項

- (1) 学校関係者評価(いじめ問題への取組)
- (2) 令和8年度学校運営の基本方針について
- (3) 学校運営協議会自己評価
- (4) 令和8年度学校運営協議会年間計画

13 会議記録

司会の山田主幹教諭から、委員総数9人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。まもなくして1人も出席した。

(1) 学校関係者評価(いじめ問題への取組)

議長の指示により、今田生徒指導主事から、別紙資料に基づき学校関係者評価(いじめ問題への取組)について説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・会議録は残さなくてはいけないのか。(杉山委員)  
→法律上残さなくてはいけない。(今田生徒指導主事)  
→ボイスレコーダーで録音したものを文字起こししてくれるようなツールもあるが、そういったものは使用できるのか。先生方の負担が増えていくようだ心配だ。(杉山委員)  
→そういったツールについて検討中だ。(今田生徒指導主事)
- ・ソーシャルエモーショナルラーニングの計画実施とあるが、具体的にはどのようなことをするのか。(縣委員)  
→本年度11月に静岡県教育委員会から出たプログラムがある。その中に実践事例やワークシートがあり、それを利用して中学校3年間の中でそれぞれの発達段階に応じたものを行っていく。(今田生徒指導主事)

- ・人間関係や社会性を身に付けさせるのも基本は家庭教育。学校も努力してくれているが、もっと家庭へアプローチをしていくことが大切だと思う。(名波委員)
- ・SNSが充実している今、便利だが心配な面も多い。いじめる側の根底には不安な気持ちがあり、それがいじめというかたちで出ている気がする。子どもたちが安心して過ごせる環境を家庭、地域、学校と、いろいろな場で作っていけるとよい。(白井委員)

## (2) 令和8年度学校運営の基本方針について

議長の指示により、小川校長から、別紙資料に基づき令和8年度の学校運営の基本方針について説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・子どもたちにとって必要なことや大切なことが入っているランドデザインだと思った。令和8年度は部活動の地域展開や校舎の建替といった大きな動きがあるが、このランドデザインに関わってくるところはないのか。(石川委員)
    - 教育活動からは外れるのでこの中には入れていないが、実際には子どもたちに影響があることなので、教職員等で連携してやっていく。(小川校長)
  - ・基礎学力の定着とあるが、基礎学力とはどこをさしているのか。(吉田委員)
    - 50点満点のテストで10点取れない子が多い。基礎的な国語力が身に付いていない外国籍の子もいる。次の学習をするうえで苦しい子が多い。(小川校長)
    - 小学校では発達支援学級だったが中学では通常学級にいる子がいて、中学での授業についていけず授業中寝ていると聞いている。そこに対する支援はあるのか。(吉田委員)
    - みんながきちんと授業に参加できるような授業づくりが必要だと考えている。基礎的なところが身に付いていない子に関しては、保護者からの申し出を受けて1時間取り出して教えたり、授業に入り込んで個別に教えたりしているが、さらに充実させていきたい。(小川校長)
    - 教員は足りているのか。(吉田委員)
    - 足りているとは言えない。支援員が来ている。(小川校長)
  - ・学級運営委員会とはどのようなものか。(磯部委員)
    - 子どもたちで話し合いをして今の学級の状態を確認し、次はこういうふうな目標で頑張っていこうとするようなものだ。(小川校長)
  - ・朝の会や帰りの会、道徳の授業を先生方が輪番制で行うのは良いことだと思う。(名波委員、縣委員)
- 協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

## (3) 学校運営協議会自己評価

議長の指示により、山守教頭から、学校運営協議会自己評価のアンケートについて説明があり、委員がそれぞれ自己評価を行った。それらの意見をまとめるかたちで開成中学校運営協議会の総意として以下のような自己評価となった。

<評価項目1>学校運営の基本方針について熟議することができたか。

→よくできた。

- ・委員がそれぞれの立場を生かし、様々な視点から意見交換をすることができた。

・委員の質問に学校側からの分かりやすい説明があり、理解に努めることができた。  
＜評価項目 2＞承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

→よくできた。

- ・地域のボランティア活動や職場体験活動など、自主性のある活動についても学校から具体的状況を聞き、支援について話し合いができた。
- ・目標に対する対応策までしっかりと話し合いができた。

＜評価項目 3＞協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

→行った。

- ・協議会としての話し合いの内容は、学校のホームページを通してしっかり発信することができた。
- ・情報をどこまで伝えてよいか分からず、個人的な情報発信には消極的な委員が多かった。

＜評価項目 4＞今年度の評価を踏まえた来年度の目標

- ・学校運営の改善、及び生徒の教育活動の充実を図る。

#### (4) 令和 8 年度学校運営協議会年間計画

議長の指示により、小川校長から、別紙資料に基づき令和 8 年度学校運営協議会年間計画について説明があった。

第 1 回は令和 8 年 5 月 13 日（水）、第 2 回は令和 8 年 10 月 14 日（水）、第 3 回は令和 9 年 1 月 14 日（木）、第 4 回は令和 9 年 2 月 24 日（水）、いずれも 14 時 30 分からの開催を予定していると伝えられた。

#### 14 その他連絡事項等

司会から、令和 8 年度第 1 回学校運営協議会は、令和 8 年 5 月 13 日（水）14 時 30 分から開催する旨の連絡があった。

次回の議長に磯部委員が推挙された。